

作品展などが催された「ふれあい祭」
—砺波市の神島ふれあいセンター—

住民活動



2004(平成16)年、神島の住民活動の拠点となる「神島ふれあいセンター」が開所した。軽運動ができる多目的ホールを併設した施設で、ホールの一部には夜高行燈(かたな)が出入りできる格納庫が備えられている。11月8日の「ふれあい祭」は、会議室で各種団体の作品展示、多目的ホールでフリーマ

各年代層の組織、活発

ケットと持ち寄った野菜の「昼市」が行われ、格納庫では食べ物コーナーが店開きした。

自治会はふれあいセンターを舞台に住民の融和と生活向上に努めている。現在は吉田太郎会長の下に庶務、会計、公民館体育部、広

ふれあいセンター拠点に

報文化部、安全防犯部、自主防災会、防犯会が組織されている。自治会とは別に、神島ふれあいセンター(岡田巖館長)、35歳までの青年会(下保賢昇会長)、50歳までの神栄会(早川慎太郎会長)、60歳以上の「思い出の会」(森田嘉弘会長)、35歳までの女

性の「青空会」(稲見和恵会長)が活動する。ふれあいセンターの開所と同時に50、60代の女性の会「なでしこグループ」が発足し、活動を展開している。代表の吉田百合子さんと数節子さん、川幡一枝さん、広瀬伊美子さん、高木建子さん、稲見千枝子さんの6人



で、手芸や民謡を楽しみ、使用済み切手収集活動や特別養護老

.....
手芸作品などを展示した「なでしこグループ」会員ら一同

わがまち
夫婦一ひと